



no.170

2018年(平成30年)

7月20日発行

樹木のふしぎ／ハナゾノツクバネウツギ

みどり探訪／植物の宝庫…蓮華寺

緑の歳時記／ムラサキオオツユクサ

特集／荻窪一丁目・成田西二・三丁目 農の風景育成地区

「花咲かせ隊」「すぎなみ公園育て組」募集

みどりの窓／みどりの実態調査報告、荻窪つどい公園開園ほか

園芸ワンポイント／植物パワーで病害虫を軽減

樹木のふしぎ

ハナゾノツクバネウツギ

(花園衝羽根空木)

ハナゾノツクバネウツギ(スイカズラ科)ってご存知でしょうか?あまり聞いたことのない名前ですね。でも実は、身近によく見かける樹木なのです。

◆どんな木ですか

暖地では常緑、寒冷地では冬季に落葉する半常緑の低木。中国原産の園芸種で、大正時代の末期に渡来しました。別名「アベリア」とも言います。樹形は、株立ち。よく分枝し、小さな卵形の葉を密に茂らせます。成長が早く、丈夫で育てやすいことから公園の生垣や道路沿いの植え込みなどに多く利用されてきました。

◆どんな花が咲きますか

細く伸びた枝の先に、淡紅色を帯びた小さな白い花をいくつも付けます。先が五裂したラッパのような形で、とてもよい香りがします。花期は5月頃から11月頃までと大変長く、花の少ない時期には昆虫の貴重な蜜源となっています。

◆名前の由来は

“ハナゾノ”は、花が次々と長い間咲く様子、“ツクバネ”は、花の散った後に残るがく片の形が羽根突き羽根に似ている点、“ウツギ”は空木と書くように枝が中空であるところから名付けられたということです。

◆“ウツギ”であるわけは

枝の芯が空洞ってどんな意味があるのでしょうか?空洞の枝は軽く、支えるための力が少なくすむので、余ったエネルギーを他にまわせるという説があります。花を長い間咲かせ続けられるのも、もしかしたらそのエネルギーのおかげかもしれませんね。



ピンク花の品種
エドワード・ゴージャス



羽根突きの羽根に似ているがく片



清楚な白花

みどり探訪

植物の宝庫…^{れんげじ}蓮華寺

杉並区の桜の名所にあげられ、古木が毎年美しい花を咲かせる蓮華寺は、室町時代創建といわれる真言宗室生寺派のお寺です。荻窪駅から北東徒歩約15分のところにあります。境内には桃野尋常小学校（現天沼小）天沼分教場跡の碑が、また天沼村関係の古文書が多く所蔵されているなど、杉並区の歴史を語るお寺でもあります。

毎年4月3日には「花まつり」が賑やかに開催されます。

外門から入ると桜並木、春先には見事な梅も見られます。

道をはさんでつづく山門を入った境内には、ヒノキ、サルスベリ、ホオノキなど緑に囲まれた本堂「無動閣」があります。また、先代住職（元室生寺派管長）が作ったという石庭や苔むす境内には、ヒメスマレ、エイザンスミレ、ヒゴスマレ、タチツボスマレ等のスマレが咲き、ショウジョウバカマ、カタクリ、ニリンソウ、イカリソウ、アマドコ

ロ、オダマキ、クロモジ、ミツバツツジ、シュウメイギク、ヤブレガサなどたくさんの珍しい植物が、顔を出し楽しませてくれます。

住職（室生寺教務執事）によれば、植物を愛した先代住職が集め育て大切に手入れをしていたそうで、昔は400種類くらいあったそうです。

裏手の墓地にはサクラの古木や竹林があり、こちらは静寂な雰囲気が漂っています。

サザンカ、ドウダンツツジの生垣の山門は、いつでもお参り出来るよう1年中開いているそうです。珍しい植物が四季を彩る、蓮華寺の庭を訪ねてみてはいかがでしょうか。



外門と満開のサクラ



苔むす境内



静寂な枯山水の庭



花まつり



本堂



子どもたちと弁財天堂



カタクリ



ショウジョウバカマ



ヒメスマレ



ミツバツツジ



緑の歳時記

区内でよく見かける帰化植物

ムラサキオオツククサ (紫大露草)

ツククサ科 / メキシコ原産の多年生草本

茎の高さは15～30cmくらいで株全体が暗紫色を帯びます。葉は長楕円状披針形で長さ12～18cm、幅2～4cmで基部は挟まって鞘となり茎を抱きます。花は茎の先に大きな2個の苞に包まれて咲きます。薄桃色の3弁花で、一つの花

びらは直径1cmほどです。

日本には1900年代中頃に渡来し、近年急速に広まったとされます。長い間無名のままで栽培され、野生化もしていましたが、1955年に学名が付けられました。別名はムラサキゴテン (紫御殿) といい、なんとも奥



ゆかしい名前です。区内では高井戸地域区民センター裏の花壇、善福寺川沿いの民家の庭先や植込み、鉢植えなどで見られます。

特集

荻窪一丁目・成田西二・三丁目 農の風景育成地区のご紹介

平成29年3月に、荻窪一丁目・成田西二・三丁目の一部が農の風景育成地区に指定されました。

◆農の風景育成地区とは

都市の貴重な農地を保全し、農のある風景を維持していくために東京都が創設した制度です。

◆農の風景育成地区での取り組み

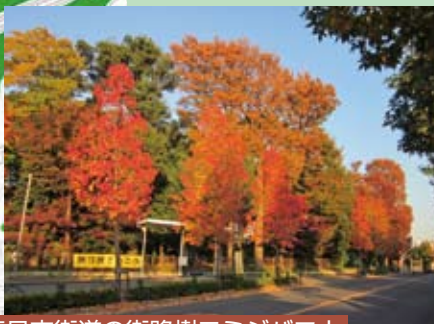
当地区では「地域住民の協力を得ながら屋敷林・農地の保全を支援することで、農の風景を将来へ継承していく地域を目指す」という目標を定め、屋敷林や農地を活用したイベント等を開催しています。



後世にのこしたい屋敷林



善福寺川



五日市街道の街路樹モミジバフウ



用水路跡



成田西ふれあい農業公園



杉並のみどりと農を楽しむ小さな旅マップ

農の風景育成地区とその周辺を紹介する「散策マップ」です。成田西ふれあい農業公園、杉並区役所みどり公園課で配布しています。

募集 地域の公園でボランティア活動をしてみませんか！

参加できる団体は、構成員が5人以上などの要件があります。参加は随時受け付けています。詳しいお問い合わせは、みどり公園課みどりの協働係へ



花咲かせ隊

◆活動内容

公園で花の植え付け、手入れ等花壇の管理を行います。

◆区からの支援

花の苗(年3回)、肥料(年1回)、用具等を支給・貸与します。



▲年1回花壇講習会を開催しています。

すぎなみ公園育て組

◆活動内容

公園で清掃や除草、低木の手入れ等を行います。活動場所や内容は、事前に区と取り決めます。

◆区からの支援

清掃・園芸用具等を支給・貸与します。



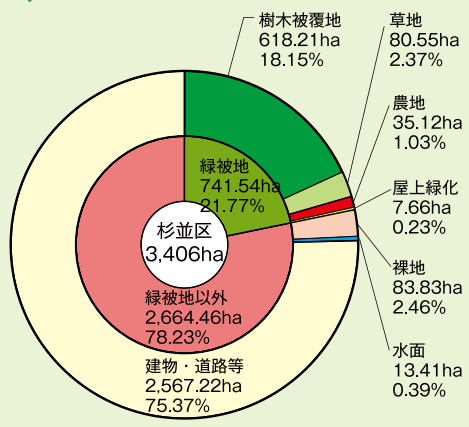
▲井荻公園野草園で活動をしている皆さん

～平成29年度～ 杉並区みどりの実態調査を行いました

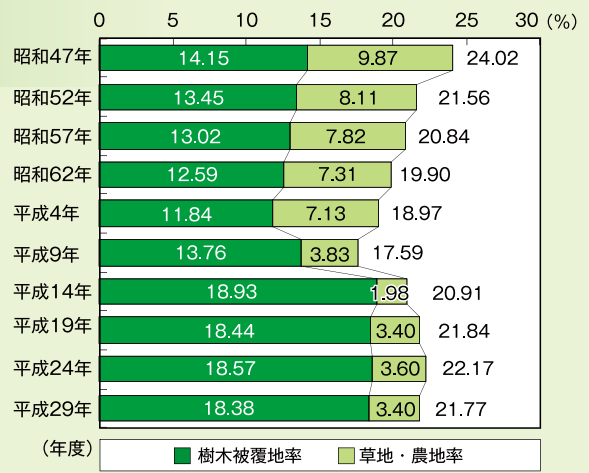
杉並区内のみどりの実態を把握するため、「みどりの実態調査」を昭和47年から5年ごとに行っています。

昨年度、約1年間に渡り、区内全域の樹木や樹林などの調査を行ってまいりました。調査にご協力いただき、ありがとうございました。今号では主な調査の結果についてお知らせします。

緑被率..... 21.77%
緑被面積..... 741.54ha



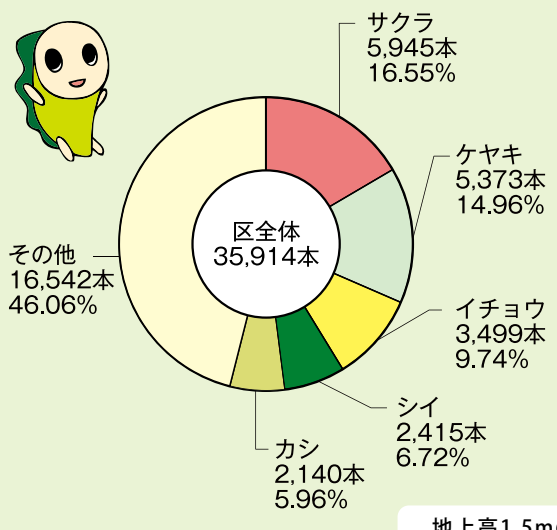
緑被率とは、樹木や草地などの緑で被われた面積が、区域面積に占める割合です。



※本図の樹木被覆地率には、屋上緑化率が含まれています。

緑被率の経年変化

樹木本数... 35,914本

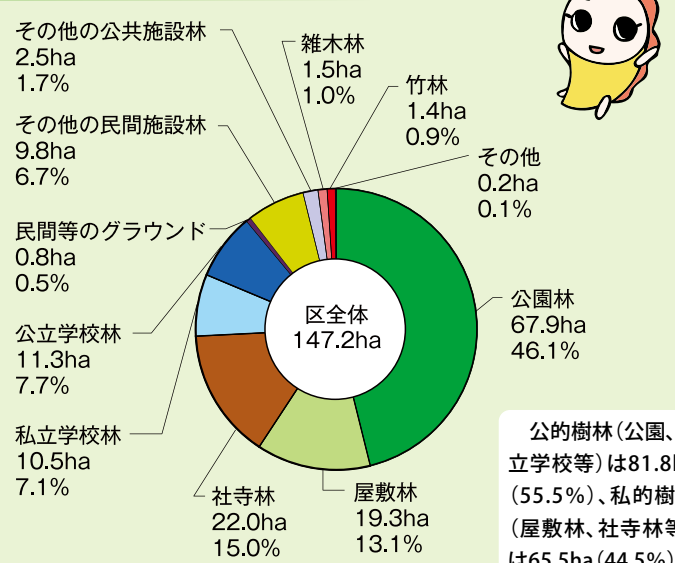


地上高1.5mの幹の直径30cm以上の樹木は35,914本でした。

樹種別樹木構成比

面積300㎡以上の樹林

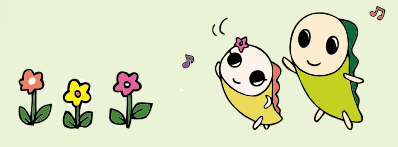
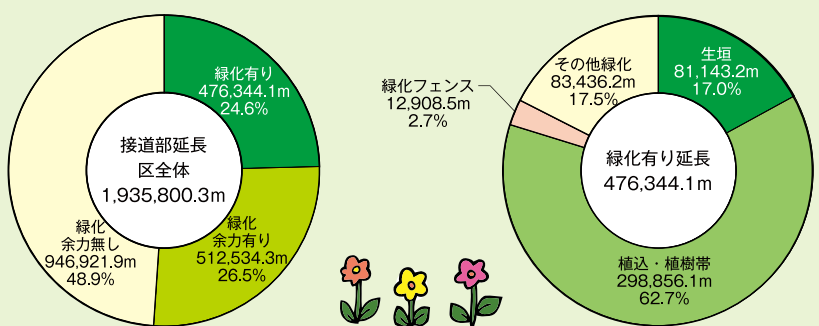
...634箇所 ...147.2ha



公的樹林(公園、公立学校等)は81.8ha(55.5%)、私的樹林(屋敷林、社寺林等)は65.5ha(44.5%)でした。

形態別樹林面積の構成比

接道部緑化率..... 24.6%



接道部緑化率とは、敷地の道路面(接道部)の生垣や植込等の緑化延長が接道延長に占める割合です。「緑化有り」は生垣や植込・植樹帯といった緑化の行われているところ、「緑化余力有り」はブロック塀といった将来的に緑化が可能なおとところ、「緑化余力無し」は出入口など将来的にも緑化の可能性が低いところとしていいます。

緑化状況の構成比

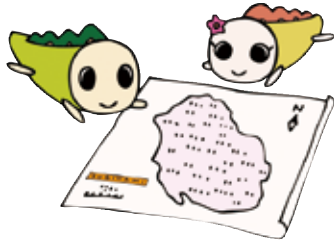
緑化有りの種別構成比

※緑被率や構成比は端数処理の関係から合計値が合わない場合があります。

みどり公園課よりお知らせ

本紙「みどりとひと」では、これまで区内のみどりやみどりに関わる人、区の緑化施策などを紹介してきました。今後は「景観まちづくり」についてもご紹介していきます。

問い合わせは、みどりの計画係へ



荻外荘建物内一部公開イベントを開催しました

6月2日(土)に(仮称)荻外荘公園(荻窪2-43)の北側敷地と建物内の一部を公開するイベントが行われました。

みどり豊かな屋敷林を有し、史跡でもある「(仮称)荻外荘公園」の復元・整備を、地元地域を始めとする区民の皆様、荻外荘にご関心をお持ちの皆様とともに行ってまいります。



荻窪つどい公園が開園しました

荻窪つどい公園(荻窪4-15-27)が4月7日(土)に開園しました。皆さん、ぜひ足を運んでください。

- ◆主な施設 すべり台、ブランコ、健康遊具、あずまや、だれでもトイレほか
- ◆開園時間 午前8時～午後6時



みどりの相談所

相談員が増えました
～新たに大竹保男先生が就任～



みどりの相談所では、みどりに関するさまざまな相談を、窓口と電話により専門の相談員がお受けしています。今年から1名増えて、4名体制で運営しております。大竹先生は、原則毎週第1・2日曜日を担当しています。お気軽にご相談ください。(所在地等は6頁を参照)

みどりのイベント2018 開催

みどりに親しむイベントとして、毎年柏の宮公園(浜田山2-5-1)で開催されている「みどりのイベント」。5月27日(日)に開催された今年は晴天に恵まれ、大勢の方にお越しいただきました。

各出展場所での募金箱による「みどりの基金」のご寄付にもご協力いただきましてありがとうございました。



▲毎年好評「ツリークライミング」



▲木の輪切りに絵を描こう(ストラップ作り)





みどりに関する相談は
塚山公園みどりの相談所
くさばな
 ☎03-3302-9387
 杉並区下高井戸5-23-12
 毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分
 休所日・年末年始(12/29～1/3)



植物パワーを使って、病害虫を軽減してみよう

「植物」は不思議です。みずから養分を作り、病害虫にも様々な工夫を凝らす対応をしています。そして、地球の空気を浄化し、酸素を生み出し、動物をも養います。また、人が病気に侵されたときの薬も多くの植物から作り出されています。

こういった植物の特性をいかして、草花や野菜の栽培を試みてはいかがでしょうか。農薬も化学肥料も軽減できるはずですよ。

野山を散策すると、多くの草木は病害虫の被害を受けず生育しています。良く観察するといろいろな種類の草木がお互いの特性をいかしながら、バランスを取り合って生えています。家庭菜園でもこの状態を作れば病害虫に侵されにくくなります。また、天敵昆虫を増やすことでも害虫から野菜や草花を守ることができます。

◆一緒に育てると効果が見られる一例

	効果
マリーゴールド(キク科) + ナス、トマト、ダイコン	根からの分泌液で土中のセンチュウ被害を防げる。葉の臭気により防虫効果があり、トマトにつくコナジラミにも有効
バジル(シソ科) + ピーマン、トマト	トマトを害虫から守り、生育を促進させ風味をよくする。コナジラミ、アブラムシに効果的
チャイブ(ヒガンバナ科) + トマト、レタス、ニンジン、エンドウ	アブラムシがチャイブに寄り、育てている野菜の被害を防ぐ。野菜の生育を促進させ、風味も良くなる。

◆植物の持っている効果

※マメ科植物(クローバー、レンゲ):

空気中の窒素を固定する特別な力の持ち主です。土壌を肥沃に、微生物の繁殖を旺盛にします。

※キク科(菜の花、シロカラシ、マリーゴールド):

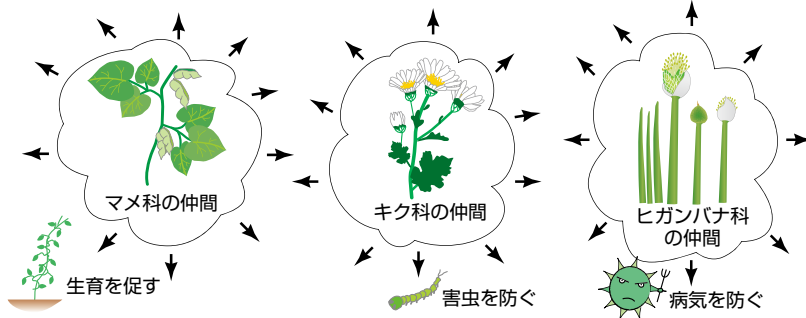
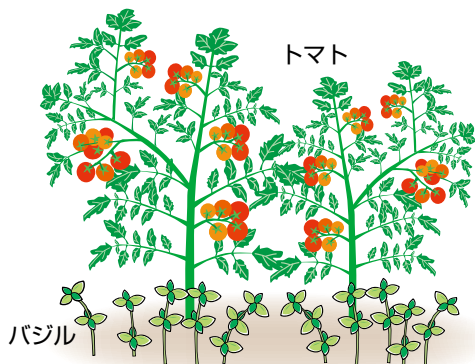
辛みや刺激性を含むものが多く、虫が嫌がり食害を防ぐことができます。

※イネ科(ライ麦):

畑にすき込むことで、肥料分を補い、土壌力が増します。

※ヒガンバナ科の仲間(長ネギ、ニラ、ニンニク):

抗菌物質や拮抗菌が増え、ナス科植物の連作障害を軽減できる優れた力の持ち主です。



編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- むさしのの 四季を彩る 蓮華寺か。(石)
- 蓮華寺、初めて行きました。桜もきれいでしたが、足元の山野草がとてもかわいい。バス通りのすぐ近くなのに静かで落ち着いたお寺です。(松)
- 蓮華寺、すばらしいお寺がこんなに近くにあるとは!! ぜひ足を運ばれたら如何ですか?(原)
- 先日は、小平市は個人宅の丹精こめたお庭や花々が咲き乱れる花壇を一般公開している「オープンガーデン」に足を。杉並区でも、とつい…。(羽)
- 高井戸区民センター近くの神田川流れの中黄菖蒲がきれい、桜上水から高井戸駅の間シダレ桜・桃・桜の競演は来春をお楽しみに。(水)
- 今年は早春には梅の花がなかなか開きませんでした。と思ったら、急に暖かくなりあっという間にフジ、サクラをはじめ様々な花の盛りとなって驚きました。花が次々に早く咲くので季節のずれを感じています。(山)
- 今号は蓮華寺でしたが、原稿の取材に赴ける事は、編集に携わる貴重な体験となります。(中)
- 「夢心地 桜吹雪の 蓮華寺で 原稿練るも 多修正に 心萎え」字余り。(小)
- 植物は、良い環境でお互い助け合い、病害虫でさえ軽減してしまうとは驚きました。(三)



みどりの新聞 みどりとひと170号 平成30年7月20日発行

編集 集/みどりのボランティア
 編集・発行/杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
 「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

